

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	25	金	9:00	13:30	五味ヶ谷、シルバー倉庫	9名
活動名称	五味ヶ谷市民の森 伐採木の搬出作業					報告者：小澤 邦彦	

1、活動目的

五味ヶ谷で、伐採したコナラの倒木を活用し、ベンチプロジェクトに活用するため、シルバー倉庫まで搬出し、各種木工制作の材料として活用する。

2、活動内容ほか

- (ア) 4月から放置されていた伐採木をシルバー倉庫へ搬出するためには大きすぎるので、チェーンソーで半割にする。半割に時間がかかるので24日に半割作業をやっていただいた小嶋さんに感謝
- (イ) 半割にした木材を搬出するため、会員の素晴らしいウインチ、ロープ、滑車作業技術により、引き出す事が出来た。
- (ウ) 搬出にシルバーの3トン車をお借りし、ウインチにより3トン車に搭載した。200kgにも及ぶ材木をトラックに乗せるウインチ、滑車技術には感服しました。
- (エ) 藤金の倉庫の保管場所までに運搬した。
- (オ) 今後、製材など加工して、里山の活動に活用したい。



4月16日の伐採前

3、評価：

樹木の伐採など重量物の移動には、ウインチ作業が不可欠で、12v ウインチやウインチ用ワイヤー、滑車が不可欠で、クラブでの購入が必要。

里山クラブの会員は、色々な専門技術を持つ人が多く、会員の能力や知恵、経験を活用すれば、何にでも対応出来るのではないかと考えてしまいます。

4、課題

最近、ナラ枯れが広がっている中で、鶴ヶ島の市内の森にも進行が広がっているようです。このため、伐採しなければならない樹木が多くなっています。太田ヶ谷にも5本のナラ枯れ木が有ります。これらに対応するためには、安全な伐採技術、伐採した樹木の活用方法などの技術の習得やシステム構築が課題となります。会員のネットワークやアイデアを持ち寄ると、良いシステムが考えられるかも知れません。

皆さん、アイデア等を提案ください。

<里山参加会員>

小澤邦、小沼、杉山、小嶋、大森、牛島、柳川、鈴木寿、吉井

<活動写真> 11月26日に、伐採した木を半割にし、26日シルバー倉庫へ搬送



半割の作業



半割りされた樹木



滑車・ロープワーク準備



半割木を縛る



滑車で牽引



トラックへ積み込み



積み込み完了



移動して倉庫に保管